

令和6年度 国立乗鞍青少年交流の家 「私なりのSDGs宣言書」

当施設は高山市に「飛騨高山SDGsパートナー登録」をしています。
 まずは、職員一人一人が「私なりのSDGs宣言」をし、できることから取り組んでいきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



職名	氏名	私なりのSDGs宣言	目標
所長	関根 章文	乗鞍のダイナミックな自然（分水嶺、雲海、森林など）を かんじたい、しりたい、つなげたい。	 
次長	谷崎 誠	大きな世界のことをイメージしながら、まずは自分の周りのことからコツコツ動いてみます。	
事業推進室長	谷口 昌生	コミュニケーションをたくさんとります。 自分の基準で相手を判断するのではなく、相手の思い・願いを理解し、公正な見方や考え方に努めていきます。	
企画指導専門職	細呂木篤志	多くの方々へSDGsの大切さを伝えていきます。	
企画指導専門職	牧田 隆之	マイ箸、マイボトルを使用してごみを減らします。	
企画指導専門職	立松 伸悟	働きやすい職場づくりを目指します。	
企画指導専門職	大羽 亮平	家族の時間、家庭の事も大切に、一生懸命働きます。	 
事業推進係長	紺谷 和宏	マイバッグ、マイボトルを使用し、ごみは資源として分別します。	
事業推進係	湯本 将太	物を最後まで使い切ります。	
事業推進係	五島 京香	自然や人との交流を通して、自然環境の大切さや生活にいきる知恵を学び、伝えることに努めます。	
事業推進係	山本 篤信	伐採木の再利用と樹木を正しい方法で管理し、緑を豊かにします。	
総務係長	田川 晴美	人・自然・環境に優しい生活に心がけます。	
総務係	社 太良	マイバックやマイボトルを使用するなど、エシカル消費を心がけます。	  
管理係長	溝尻 裕	光熱水料の節約目標値に向けて節電・節水に努めます。	
管理係主任	林 健介	自分や周囲の、性別や個人の特性、所属等に対するアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）に気づき、無自覚に存在している不平等や生きづらさの連鎖を身近なところから断ち切ります。	 